

【真庭市教育委員会】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市はめざす学びの姿として、「エビデンスに基づく確かな実践」「学校生活を一緒に楽しむ」「教育 d X の推進」の三点を掲げている。その中の「教育 d X の推進」においては、授業での情報機器活用と情報機器活用の日常化の二点を具体目標として設定している。これらの具体目標を達成するためには、今まで培ってきた教育技術「リアル」と、1 人 1 台端末等を活用した「デジタル」の融合した授業改善を推進する必要がある。その推進を図ることで、本市が目指す学校教育である「確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成」に向けて進んでいきたいと考える。

2. GIGA 第 1 期の総括

文部科学省による GIGA スクール構想に基づき、本市においても教育の DX 化を推進してきた。令和 2 年度には全校において無線 LAN 環境を整えるとともに、全児童生徒、全教職員に 1 人 1 台端末を配付した。

【個別最適な学び、協働的な学びの推進に向けて】

AI 型デジタルドリルについては、市内で統一したものを導入した。活用研修を行ったり各学校の取組を横展開する工夫を行ったりしてきたことで活用が進み、一定の成果が見られた。考えを共有するための支援ソフトについては、統一に向けてよりよいものを模索している状況である。しかし、学校規模や地域性、学校の目指す姿等学校の求める教材等が異なっていることから今後の導入については検討が必要である。

【日常的な利活用に向けて】

令和 6 年度に実施した全国学力・学習状況調査で、「授業でタブレットなどの ICT 機器をほぼ毎日使用した割合」が全国や県平均と比べて高い数値を示すなど、ICT が児童生徒にも「学びの道具」として定着しつつある。一方で、学校間、教員間で活用能力の開きが出ていることが課題として挙げられる。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

GIGA 第 1 期においては「学びの道具」として日常的に活用することができるようになってきた。GIGA 第 2 期においては、端末整備・更新計画に基づき引き続き適切に維持・更新していくことを前提として、より有効な活用方法を模索しながら学校独自の取組を推進していく。

① 1 人 1 台端末の積極的活用

3 名に増員した ICT 支援員の配置、研修会の実施等を通して、好事例を紹介したり各校の実践を交流したりすることで、タブレット端末をより効果的に活用できるよう、教員の ICT 活用スキルの向上を図る。

②個別最適・協働的な学びの充実

授業支援ソフトの導入支援を行い、研修会を開催したり活用事例を紹介したりすることで、児童生徒が「自分で調べる場面」「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」において、1人1台端末の積極的な活用を推進していく。また個別最適な学びを実現するために、より効果的なAI型学習ドリルの一斉導入を検討していく。

③学びの保障

不登校の児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び支援が必要な児童生徒等に対し、1人1台端末を活用することで学びの幅を広げ、様々な状況の児童生徒の学習機会を確保していく。

【1人1台端末の利活用における現状と目標】

項目	評価の指標	現状値 (R6年度)	目標値 (目標年度)
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小 78.9% 中 100%	小：100% (R8) 中：100% (R8)
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小 31.6% 中 83.3%	小：80% (R8) 中：80% (R8)
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小 47.5% 中 83.3%	小：80% (R8) 中：80% (R8)
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小 31.6% 中 66.7%	小：80% (R8) 中：80% (R8)
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小 36.9% 中 33.4%	小：80% (R8) 中：80% (R8)
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	小 100% 中 50%	100% (R8)
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	小 42.1% 中 33.3%	100% (R8)
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	小 100% 中 83.3%	100% (R8)
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	小 100% 中 100%	100% (R8)